

# Dream Power Memory

ドリームパワーメモリー

ゲームタイプ 対戦

難易度 ★★★

## ゲームの概要

色やマークを記憶し、記憶したカードを正しく答える記憶力ゲームです

## プレイ人数・時間

人数 2～4人  
時間 10～15分

## 使うカード

ドリームパワーカード 66枚

## 【ゲームの勝ちかた】

出たカードの「色」や「マーク」を覚え、解答を間違えたら手持ちのカードが増えます。

ゲーム終了時に、手持ちのカードが最も少ないプレイヤーが勝ちます。

## 【ゲームの準備】

### ① 山札をつくる

ドリームパワーカードをシャッフルして中央に置きます。

### ② 順番を決める

プレイする順番を好きな方法で決めます。

## 【虹色・スペシャルマークの使い方】

虹色やスペシャルマークのカードは、答えるタイミングの合図になります。

## 【ゲームのルール】

### ① 覚えるものを決める

最初のプレイヤーは、「色」か「マーク」のどちらを覚えるかを決めます。

### ② カードを引く

それぞれのプレイヤーは、順番に山札からカードを1枚ずつ引き、山札の横に表にして置きます。

### ③ カードの決められたものを覚える

全てのプレイヤーは、出たカードの決められたもの（「色」または「マーク」）を覚えます。

### ④ 答えるタイミングと答える人の指名

「色」を覚えると決めた場合は虹色のカード、「マーク」を覚えると決めた場合はスペシャルマークのカードを引いたときに解答のタイミングです。

もし、虹色のスペシャルマークを引いた場合は、色・マークのどちらを指定していた場合でも解答になります。

この場合、「色」と「マーク」の両方を答えなければなりません。

カードを引いたプレイヤーは、すべてのカードを裏向きにし、答えるプレイヤーを指名します。指名は自分も選べます。

### ⑤ 解答

指名されたプレイヤーは、裏向きにしたカードを上から順に、覚えた内容を答えます。

正解した場合は、カードを引いたプレイヤーがすべてのカードを受け取ります。

もし自分を解答者に指名して正解した場合は、カードを好きなプレイヤーに渡せます。

間違えた場合は、答えたプレイヤーがすべてのカードを受け取ります。

### ⑥ 次のプレイヤーのターン

カードを受け取ったプレイヤーが次のターンを開始します。新しく「色」か「マーク」を決めて、カードを引きます。

### ⑦ ゲームの終了&勝敗

山札のカードがなくなったらゲーム終了です。

最後のカードを引いたときは、たとえ虹色やスペシャルマークがなくても、カードを裏向きにして解答を行います。

最後に、持っているカードの枚数が最も少ないプレイヤーの勝利です。

## （上級者用ルール）

ルールが簡単だと感じる場合は、「色」か「マーク」のどちらかを指定するのではなく、両方を覚えて答えるルールに変更します。

この場合、虹色またはスペシャルマークのカードのどちらかを引いたときに解答のタイミングになります。